

1. 調査報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0170502470
法人名	医療法人社団高台病院
事業所名	グループホームはしどい
所在地 (電話番号)	北海道札幌市豊平区美園3条8丁目4-5 (電話)011-831-2181
評価機関名	特定非営利活動法人 アイケア・ネット
所在地	札幌市中央区南2条東1丁目1番地12
訪問調査日	平成21年 6月 1日

【情報提供票より】(平成21年 5月14日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成16年 1月20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 17人, 非常勤 人, 常勤換算	16.5人

(2)建物概要

建物形態	併設型	新築
建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	3階建ての	2階 ~ 3階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	60,000 円	
敷金	有(家賃の1ヶ月分)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	180 円
	または1日当たり 円			

(4)利用者の概要(5月14日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	1名	要介護2	4名		
要介護3	11名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 81.6歳	最低	64歳	最高	94歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団高台病院、松坂皮膚科、医療法人サンブラザ新札幌循環器病院
---------	------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>施設長を始め職員一丸となって、利用者が「新しいわが家」として地域で暮らしていくための支援が行われているため、利用者が安心して生活している様子が見られる。特変時の連絡や季刊誌の発行、手紙や写真等により、家族に対するこまやかな報告が行われており、家族も安心して様子が見られる。</p> <p>カロリーや栄養バランス、利用者の状況に合わせながらも、彩りや盛り付け等見た目にもおいしい食事の提供がなされている。ホームの畑で野菜を育て、収穫し、食することで利用者が楽しんでかつ安全に食事ができるような支援となっている。</p> <p>定期的に行われている運営推進会議において、介護制度の説明や家庭でできる介護等の情報提供が行われ、地域とのつながりを深めることにつなげている。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>グループホームが住宅街のわかりづらい場所に位置しているため以前から検討事項であった、ホームへの案内板の設置が行われている。相互訪問や勉強会は行われていないが、同業者と情報交換を行うなどネットワーク作りが行われている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者と職員が全員で自己評価にかかわり、積極的な取り組みが行われており、改善事項は会議で検討するなど、更なるサービスの質の向上に向けた取り組みが行われている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>定期的な運営推進会議が行われており、年間行事やグループホームで提供している食事の試食会等のホームの紹介の他に、介護保険制度や家庭でできる介護等の役に立つ情報の提供が行われており、地域に根ざしたサービスの提供が行えるよう取り組みがされている。運営推進会議において意見や要望がある時は、会議等で検討し改善への取り組みや要望の取り入れが行われている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>苦情の受付窓口を明らかにしており、運営推進会議に利用者や家族が参加することで意見や要望を表せる機会が設けられていたり、家族がホームに対して話をしやすい関係作りをしたりしている。現状では、特変時や毎月の生活状況の連絡が細やかにされており、家族の心配は少ないようであるが、更なる質の向上のためにも様々な意見を取り入れることが望まれる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>敬老会等のグループホームの行事に地域のボランティアが手伝いに参加してもらったり、お祭り等の地域の行事に参加したり、ホームで収穫した野菜を近隣に食べてもらったり、地域の商店を利用したりすることで地域との日常的なつながりを深めている。より地域に理解されるよう避難訓練に参加してもらうなど更なる取り組みが望まれる。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所独自の運営理念を掲げており、利用者が「新しいわが家」として地域でその人らしく過ごしていくための支援が行われている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	来訪者にも見やすい場所に理念が掲示してある。又、ネームプレートに理念を記載し、管理者と職員が、常に理念を意識した支援が行われるよう取り組みがされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の商店を利用したり、祭り等の地域行事に参加することで、地域との交流に努めている。また、敬老会等のホーム内の行事に地域のボランティアを利用したり、収穫した野菜を近所の方に食べてもらうなど地域とのつながりを大切にしている。		今まで築き上げてきた地域とのつながりを大切にし更なる交流を深め、地域資源を活用していくことを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解し、自己評価や外部評価に取り組んでいる。改善事項は会議などで検討し、改善に向けて取り組みが行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議が開催されている。運営推進会議には、町内会役員や利用者家族等が参加し、年間行事等のホームの紹介や介護に関する情報提供の場ともなっている。		今後も定期的な会議の開催を継続し、地域や家族等の意見を受け、更なるサービスの向上に活かしていくこと期待します。
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村とは必要に応じた連携を取り、サービスの質の向上に取り組んでいる。管理者会議等に参加し情報交換を行っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時や利用者の特変時に詳細な報告を行うとともに、季刊で「はしどい便り」を発行したり、毎月手紙や写真等で利用者の生活状況をご家族に報告している。こまめに報告することで、ご家族の安心感につながっている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情の受付窓口を明らかにし、ご家族からの意見や要望があった場合は、臨時会議を開催し、運営に反映するよう取り組みが行われている。また、運営推進会議利用者やご家族が参加することで意見を表せる機会が設けられている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット合同での行事や活動を行うことが、利用者と別ユニットの職員の間にも馴染みの関係を構築することにつながっている。又、異動や離職がある場合も、利用者への影響を防ぐよう配慮がなされている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修に積極的に参加できるよう働きかけが行われている。又、研修内容は出席できなかった職員とも共有できるよう取り組みが行われている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者会議や外部研修等で地域の同業者と交流の機会を多く持ち、ネットワーク作りに取り組んでいる。他の事業者と相談や検討が行えるような関係が築かれている。		相互訪問や勉強会を行い地域の同業者とのネットワークを強化することで、様々な視点で現在のサービス提供を見直し、更なるサービスの向上に努めることを期待する。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前にはホームを見学してもらい納得した上での入居を行っている。また、希望される方には体験入居も行っている。利用者の生活暦を把握し、早く馴染んで安心して生活できるよう支援が行われている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	「家族のように接する」という理念を意識し、職員は利用者を尊重し日常生活の支援を行っている。利用者も自分の役割をもち生活することで共に支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人本位のサービスの提供に努めており、日々の観察や利用者や家族からの聞き取りなどにより利用者の意向を把握し支援を行っている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者の日々の生活状況は生活記録や個別支援経過記録に記載され、カンファレンスにおいて利用者や家族の希望と共に検討を行い、全員で介護計画の作成に取り組んでいる。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に介護計画の見直しをするとともに、必要に応じた介護計画の見直しが行われている。介護計画の見直しの際には、生活記録や個別支援経過に記載してある気づきや日常の会話の中から発現する要望を参考に、利用者の状況に応じた見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者や家族の状況や状況に応じた支援が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体が病院であることもあり、かかりつけ医や看護師との連携がとれ、相談しやすい環境となっているので、安心して医療が受けられるよう支援が行われている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時にホームが対応できる利用者の状態を説明し、承諾を得ている。必要時には家族や医療機関と相談をし、利用者にとって良い状況を検討し、支援が行えるよう取り組みがなされている。		利用者や家族、かかりつけ医等関係者の意向を統一し、利用者にとって良い対応が取れるよう更なる話し合いがなされていくことが望まれる。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は個人情報の取り扱い方を理解しており、個人名ではなく居室名を利用した記録への記載が行われている。利用者への対応も一人一人のプライバシーに配慮した支援が行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念にもあるように「その人らしさ」を大切に、利用者一人一人が個々の希望やペースに合わせた生活を送れるよう支援している。利用者が選択することができるような状況作りを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の状況に合わせた食事の提供がされている。彩りや盛り付けなどの見た目にも工夫がされており、楽しんで食事ができるよう支援が行われている。ホームの畑で収穫した野菜を食べることも食事を楽しむことにつながっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の状態や希望にあわせ、ゆっくり入浴できるよう支援が行われている。入浴前にはバイタルチェックを行い、安全に入浴できるよう支援が行われている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりののできることを把握した上で、役割やレクリエーションの支援を行ったり、花見や夏祭り、敬老会など季節を感じられる行事を行っており、笑顔で過ごせるよう支援が行われている。その都度の行事の写真が掲示しており、行事の後も楽しめるよう支援が行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム内だけで過ごすことのないように、畑で作業をしたり、近隣に買い物に行ったり、散歩をしたりするなど、利用者個別の外出支援が行われている。又、家族との外出ができるよう支援が行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関等の出入り口にセンサーをつけたり、利用者の動向を察知できるようなケアが行われることで、鍵をかけない支援への取り組みが行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回の防災訓練を定期的に行っている。防災訓練には利用者も参加し、消防署の協力の下に、消火器の使い方などの訓練も行われている。		避難訓練等において、地域住民や家族の参加や協力が得られるような体制作りが望まれます。
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士がカロリーや栄養バランスに配慮した献立を作成し、食事の提供がなされている。ケアチェック表に記載することで、水分量や摂取量を把握している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には必要な場所に手すりが設置しており、居間も日差しが入り、安全で過ごしやすい空間となっている。季節に合わせた飾り付けや利用者の写真を飾る等、居心地よく過ごせるような工夫がなされている。日中は利用者が居間に集まり寛いでいる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には馴染みのものや利用者が好むものを飾り、わが家としてストレスなく過ごしていけるよう配慮がなされている。又、温湿度や喚起にも配慮し快適に過ごせるよう支援が行われている。		

 は、重点項目。